

事務事業マネジメントシート(令和 4年度実績と令和 5年度計画)

令和 6年 1月 4日 更新

事務事業名		放課後児童健全育成事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	2	福祉の健康			所属部	健康福祉部	課長名	衛藤 和博
	施策	4	子育て支援の充実			所属課	子育て支援課	担当者名	藤本 健人
	施策の柱	16	子育てと仕事の両立支援			所属班	保育班	(内線)	1184
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	根拠法令	合志市放課後児童対策事業実施要綱 合志市放課後健全育成事業補助金交		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 4年度で終了 <input type="checkbox"/> 4年度から開始		事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)				

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	市内小学生の放課後預かりを目的に、市内放課後児童クラブの運営を行う事業。 主な予算内訳として放課後児童クラブの運営を事業者に委託する委託費や受託事業者がクラブを運営するに当たり必要な経費(支援員の人件費、児童送迎に係る経費等)を補助金で支援している。 現在、全28クラブ(一般社団法人21、株式会社4、社会福祉法人3)の運営を行っている。 市内人口の増加や夫婦共働き世帯の増加により、年々、クラブ利用希望者は増えている。
【業務の流れ】	○補助金関係 ①補助金申請書受付、審査 ②補助金決定伺い ③補助金決定通知書 ④補助金交付伺い ⑤実績報告書(添付:収支精算書、事業報告書) ⑥補助金支出等審査 ⑦補助金返還命令・受入れ ○委託関係 ①事業計画打合せ、検討 ②事業施行伺い ③委託契約伺い ④委託契約締結 ⑥実績報告書・請求書受付、審査 ⑦委託料支払い
【主な予算費目】	委託料、使用料及び賃借料、補助金
【意見や要望】	○合志南小学童ひまわりクラブの利用人数減少に伴い、来年度よりプレハブを利用しているひまわり5を廃止予定。 ○合志楓の森小学童ぞうさんクラブの利用人数増加に伴い、支援数の増設を希望している。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 4年度実績(4年度に行った主な活動)(DO)	5年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
市内放課後児童クラブの運営について、6団体に業務委託を行った。また、放課後児童支援員等処遇改善事業や送迎支援事業など実施する放課後児童クラブ運営者に対し、補助金交付申請を受け付け、審査のうえ、交付決定し、補助金を交付した。	市内放課後児童クラブの運営について業務委託を行う。また、国基準に基づいて放課後児童支援員等処遇改善等事業など実施し、申請のあったクラブ運営者に対して補助金を交付する。	
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
ア! 学童保育の登録児童数	人	新型コロナウイルス拡大防止補助金の計上に伴う補助金の増
イ!		
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
小学校の児童(平成26年度までは4年生までの児童が対象で、現在は主に3年生までを受け入れている。)	人	ア! 小学校1~3年までの児童数
		イ! 市内小学生の数
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
・仕事と子育ての両立ができる。 ・児童の健全育成ができる。	人	ア! 学童保育の延べ利用児童数
		イ!
*③成果指標設定の理由と5年度目標値設定の根拠 事業量を図るため延べ利用数とした。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	2年度実績(決算)	3年度実績(決算)	4年度目標(当初予算)	4年度実績(決算)	5年度目標(当初予算)	6年度予定	7年度見込	8年度見込		
① 活動指標	ア	人	1,055	966	1,200	1,002	1,100	1,300	1,300	1,300		
	イ											
② 対象指標	ア	人	2,424	2,498	2,500	2,522	2,500	2,500	2,500	2,500		
	イ	人	4,834	4,957	5,000	5,019	5,000	5,000	5,000	5,000		
③ 成果指標	ア	人	176,249	163,616	220,000	185,046	220,000	220,000	220,000	220,000		
	イ											
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円	78,502	99,424	96,218	94,986	93,677	91,082	91,082	91,082	
		都道府県支出金	千円	69,268	84,525	85,217	79,846	93,507	89,925	89,925	89,925	
		地方債	千円									
		その他	千円		142		39					
		繰入金	千円									
	一般財源	千円	79,926	79,814	86,286	99,695	93,980	91,209	91,209	91,209		
	(A) 事業費計	千円	227,696	263,905	267,721	274,566	281,164	272,216	272,216	272,216		
(A)のうち指定経費	千円	168	161	176	175	149	171	171	171			
(A)のうち時間外、特別	千円	168	161	176	175	149	171	171	171			
人件費	正規職員従事人数	人	4	4	2	4	2	2	2	2		
	延べ業務時間	時間	1,650	1,650	540	1,350	540	540	540	540		
(B)人件費計	千円	6,505	6,451	2,151	5,138	2,151	2,151	2,151	2,151			
トータルコスト(A)+(B)	千円	234,201	270,356	269,872	279,704	283,315	274,367	274,367	274,367			

事務事業名	放課後児童健全育成事業	所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
-------	-------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は4年度の事後評価、ただし複数年度事業は4年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 4年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 子ども・子育て新制度により、例年と比較して国・県からの通知等が遅かったが、各クラブへの補助金等の事務手続きについては滞りなく進めることができ、目標を達成した。
	② 5年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 委託料・補助金は滞りなく支払いを予定している。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 地域の特性にあわせ補助事業並びに委託事業の形態をとっていたが、クラブ運営について業務委託とすることで、より効率的な運営が期待できる。また、放課後児童支援員の質の向上を図ることで安心・安全な学童保育が実施できる。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 この事業に類似する放課後子ども教室(文科省)などの事業の実施検討を働きかけ、連携を図ることが可能である。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 国が規定する基準が設けてあり、今後、放課後児童健全育成に行政として果たす役割が大きくなるため事業の削減は出来ない。
	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最低限の職員で対応しており、削減の余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 本事業は、市内の小学生で、かつ放課後の時間帯に就労等の理由で家に保護者がいない児童が対象であり、クラブ運営費には保護者からの利用料も含まれており公平・公正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 国が規定する事業であるため、役割分担は適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

開発等による人口増や共稼ぎ世帯の増加により、クラブに対する需用が更に増加することが見込まれ、安全・安心な保育を実施するためにも、より効率的な運営や適正な放課後児童支援員の配置等が必要である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						